

## 令和7年度 羽生市立西中学校の教育について

3月に25℃を超える日があったり、昨年度の冬には、最長寒波などがあり日本の気候も大きく変わりつつあります。

さて、現在の教育界の課題としては、急速なグローバル化の進展、デジタル技術の発展など、社会は急激に変化しており、将来予測が困難な時代となっております。こうした変化の激しい社会を生き抜く子供たちに、基礎的・基本的な知識や技能の習得はもちろんのこと、他者と協働して、どのような変化にも柔軟かつ創造的に対応できる力を育成していくことを教育界には求められています。

埼玉県では昨年7月に、「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」を基本理念とした、第4期埼玉県教育振興基本計画を策定し、令和6年度からの5年間に取り組む県教育の目標と施策の体系が示されました。今回の埼玉県の共通の視点としては「誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育の推進」、「教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進」の2つが掲げられました。この二つの視点については、来年度から本校でも情報を集め研究していかなければなりません。

そこで、本校としては、今年度からの目指す学校像を「夢や希望を持ち 学ぶことが好きな生徒の育成」としました。

**学力向上**については、全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査が一人一台端末を使用した調査(CBT)となりました。このことにより、映像を活用した問題など実際の学習場面に即した出題がされるようになっていくようです。また、解答の正誤に加え、見直しに要した時間のデータも取得できるようになりました。これらのデータを詳細に分析することで、生徒、保護者にとって、これまで以上に学習成果の向上につながる振り返りができるようになると思います。

**学校教育の情報化の推進**については、国のGIGAスクール構想によって生徒一人一人に整備された端末の更新があります。県では県内の全自治体による「共同調達会議」を設置し、令和7年度から更新端末が生徒一人一人に届けられると思います。

**学校の安心・安全**については、温暖化に伴う気候変動や、激甚化・頻発化している自然災害などの発生とともに、生徒が巻き込まれる事件や事故なども増加しています。そこで、生徒たちの安全を確保するため学校教育活動全体を通して取り組みます。また、生徒が自ら危険を予測し、回避する能力の育成についても研究したいと思います。さらに、警察等と連携した防犯研修・防犯教育の実施も計画したいと思います。併せて、交通事故の被害者にも加害者にもならないよう、引き続き交通安全教育の推進に取り組みます。

特別支援教育については、インクルーシブ教育システムの構築の視点に立った特別支援教育を推進するため、校内支援体制の充実や特別支援教育に関する専門性の向上などに取り組みたいと思います。

不登校生徒への支援については、生徒が悩みや不安を抱えた時に早期に支援が受けられる教育相談体制を図るとともに、オンライン授業など多様な学びの場の提供に取り組むなど、不登校生徒への支援の充実に取り組みたいと思います。

地域と連携した取組については、コミュニティ・スクールの活動を充実させ、地域全体で未来を創る子供たちの豊かな学びや成長に御支援いただけるように、引き続き学校と地域が連携・協働できるように研究したいと思います。

学校における働き方改革については、教職員の負担軽減、ワークライフバランスの改善、生徒たちと向き合う時間の確保などに取り組めます。さらに教職員の働きやすさや、働きがいの一層の向上となるように教職員の働き方改革を更に充実させ、より効果的なものにする事で、生徒たちへのよりよい教育を実現したいと思います。

最後に、保護者や地域の皆様におかれましては、今年度も羽生市立西中学校の教育活動への御支援と御協力をお願い申し上げ年度初めのあいさつといたします。

羽生市立西中学校長 門井 五雄